

J Rサービック労「申」第13号

2024年12月10日

株式会社関西新幹線サービック

代表取締役社長 小松 修治 殿

J Rサービック労働組合

執行委員長 柳楽 関

鳥飼事業所における直前横断に関する申し入れ

直前横断については、その撲滅のために労使間で議論してきたところである。サービックの中にあつて唯一線路横断が発生する鳥飼事業所において、相次ぐ直前横断に対して、教育・訓練、点呼時の唱和や人感スピーカーなど様々な対策を講じてきたが、11月30日にまたもや発生した。直前横断は、触車死亡事故に繋がる重大なインシデントであり、抜本的な対策を講ずる必要があると考える。従って、以下の通り申し入れるので、早急に団体交渉を開催して誠意ある回答を行うこと。

記

1. 出庫時に地上信号が進行現示した時、警報機（赤色点滅）と共に、警報アラーム（○番線電車が出庫します）が発報するようにすること。
2. 入庫時に列車が洗浄機付近に接近した時、警報機（赤色点滅）と共に、警報アラーム（○番線電車が接近します）が発報するようにすること。
3. 各番線に遮断機を設置し、上記1及び2の条件時に動作するようにすること。

以 上